

4 多機能型事業所「摂津市立ひびきはばたき園」

(1) 概況

ひびきはばたき園では、総合支援法に基づく多機能型事業所として、生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）・地域生活支援事業の移動支援の各事業を実施した。

生活介護では、自閉症スペクトラムや行動障害のある方に対して構造化を中心とした手法で落ち着いて過ごせる環境を整え、活動や行動に見通しを持ち作業に集中できるようになり利用者の活動の幅も広がった。また、近隣の企業から箱組立て作業を請負い、生産活動の機会を提供できる準備を行った。

就労移行支援では、訓練資源でもある陶芸・園芸作業を就労継続支援 B 型が担う事で、より実践的な職業訓練・就職活動等の就職に向けた取り組みを提供し、就労後においても定着支援に努めた。

就労継続支援 B 型では、「小型家電リサイクル事業（希少金属の再資源化）」と施設外就労「トレイ選別リサイクル事業」、その他請負作業と就労移行支援の作業資源を作業プログラムに組み込み、新たに箱折り作業の導入の準備を行った。昨年度以上に充実した取り組みができた事によって工賃がアップし、利用者の就労意欲の向上と地域生活での潤いにも繋がった。

自立訓練では、カリキュラム内容の再確認を行い、利用者のスキルに沿った幅広いカリキュラムを提供した。また、サービス終了後の進路先について、一人ひとりの適性とニーズを確認しながら面談を重ね次の進路に繋げた。その他、新たな利用者確保の為に、支援学校や関係機関への情報提供を強化した。

今年度は、倉庫の改修工事や食堂の空調設備の交換等、利用者が安全に安心して登園できるよう危険箇所を把握し環境整備を行った。今後も定期的な点検と計画的な改修・修繕が円滑に進むよう努めたい。

ひびきはばたき園では、職員の意識改革と今後の事業及びサービスの展開の礎を築くことを目指し、職員の資質向上・意識の統一を図りながら、福祉を支える人材育成に努め、利用者が求める良質なサービス提供ができるように取り組んだ。

(2) 支援の状況

■生活介護

生活介護では、利用者一人ひとりに応じた、専門的知識・技術に基づく「日中活動の場」を提供し、安全性の確保や園内支援の充実に重点を置いた取り組みを実施した。また、昨年度に引き続き構造化支援に取り組み、利用者が活動できる場を提供した。その他、近隣の企業より練習用資材をいただき、利用者及び職員が活動に向けて環境整備を整えながら、令和 2 年度開始を目標に生産活動（箱折り）の準備を行った。

① 個別支援計画

多様化した個別のニーズに応じるため、個別支援計画の作成、個別アプローチ、個別に応じたサービスを提供した。また、緊急時の対応については、状況に応じて適切な支援を行った。

② 支援者づくり

障がい者の『自立』には、支援者は必要不可欠である。一人でも多くの理解者や、サポートを得るために積極的にボランティアを受け入れ、制度サービスの活用に努めてきた。

また、移動支援事業「てくてく」を開始して以降、積極的にガイドヘルパーの利用を促してきた。併せて、家族に対しても制度サービスの利用について働きかけた。

③ 日中活動の充実（療育活動・作業訓練・生活支援）

個別支援を基本とし、個別プログラムの充実や安全を確保するために活動内容・障がい程度を基準に、いきいき・わくわく・うきうき・のびのび・かがやきの5クラスに編成し、個別プログラムに合わせた活動を行った。

（ア）いきいきクラス

理学療法士の指導による、機能回復・維持訓練やリラクゼーション活動・リラックスタイム・気候に応じた外気浴など、ゆとりを持ったプログラムを設定し基本的な生活習慣の獲得・向上を目指した。

（イ）わくわくクラス

集団を意識しながら個人に応じた作業を取り入れ、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの活動を行った。

（ウ）うきうきクラス

安心して見通しが持てるよう構造化を個別に行い、課題に応じた作業を取り入れ運動・散歩・レクリエーションなどの活動を行った。

（エ）のびのびクラス

作業手順や自立を目的とした構造化を行い、和紙作業・制作活動・レクリエーションなどの集団を意識できる活動を行った。

（オ）かがやきクラス

利用者の健康維持管理に努め、理学療法士による機能回復・維持訓練を実施した。音楽療法・調理訓練・作業療法・集団体操など多彩なプログラムを提供するなか、個々に応じた活動を行った。

④ 生活支援

利用者一人ひとりのニーズに応えるために個別支援計画（6ヶ月ごとに見直し）をもとに個別へのアプローチや個々に応じたサービス支援を行った。緊急時の対応としても、必要に応じた適切な支援を行った。

■就労移行支援・就労継続支援B型・自立訓練（生活訓練）

就労移行支援では、日々の訓練で「就労する」素地を育み、就労活動・求職活動に積極的に取り組んだ。また、就労継続のためのきめ細かな職場定着支援にも取り組んだ。その他、ハローワーク、茨木・摂津障害者就業・生活支援センター、せつつくすのき等の関係機関や、定期的に就労支援機関事業所連絡会や摂津市就労ネットワーク会議にも参加し連携を強化した。

就労継続支援B型では、障がい者の働く場と位置づけ、安定したサービスの提供を基本に、「障がい者の自立へ向けての支援」に取り組んできた。また、積極的な働きかけにより、官公需要や地域の企業からの作業受注と新たに箱折り作業の導入準備を行うことができた。また、就労移行支援の作業資源を作業プログラムに取り込む事により、作業指導の活性化を図った。（株）ダイキンサンライズ摂津から受注した電気部品のコード巻き作業では、細かな点検や正確で安定した作業を評価いただき昨年度に引き続き今年度も品質功労賞を受賞した。

その他、市からの業務委託事業（食品トレイ選別作業）に8名の利用者と職員で従事し、施設外就労として、就労継続支援B型利用者の訓練資源の一つとしても活用することができた。

環境業務課・障害福祉課の協力の下、小型家電リサイクル事業のパソコン解体に取り組む事で、作業内容の幅が広がり充実した作業の提供ができた。

自立訓練（生活訓練）では、就職を目指す準備期間として生活能力の向上、社会人としての基礎を学べるよう取り組んできた。前期（1年目）、後期（2年目）の総合的なカリキュラムや課題を定めることで、利用者の能力に沿いながら訓練を行うことができた。また、将来に向けた目標が確立できるよう情報提供や面談を繰り返し、家族や相談支援センターウイング・就労移行支援等と連携しながら円滑に進路に繋がるよう努めた。

① 作業訓練と還元金の配分

個別支援計画（就労移行支援は3ヶ月ごと、就労継続支援B型は6ヶ月ごとに見直し）に沿った支援を実施した。

就労移行支援と就労継続支援B型では、陶芸や園芸作業、軽作業（電気部品の加工作業、小型家電解体作業）と食品トレイ選別作業に取り組んだ。そして、還元金支給取扱い要綱の基に工賃を配分した。

② 生活支援プログラムの充実

定期的なプログラムとしては、利用者の個別ニーズに即した内容（自治会・情報提供・運動）を実施した。

③ 主体性、自己決定の尊重・支援とエンパワメントを重視した支援

生活支援プログラムの中で自らの考えや思いを表現・実現できるように支援した。

④ 家庭生活、地域生活支援

個々の事情により生活全般の支援が必要な利用者については、家庭訪問や障害福祉課、相談支援事業所と連携しながら生活支援を行った。

前年度に引き続き、家族からの支援が望めない諸事情のある利用者について「一人暮らし・自立」への全般的な地域生活支援を実施した。また、障害者福祉課、生活支援課、相談支援事業所、その他関係機関と連携を強化しつつ、当園が軸となって支援を押し進めた。その他、健康で安心・安全な生活が送れるよう通院支援も実施した。

⑤ ボランティアや実習生の受け入れ

社会福祉活動への一般の方の関心や参加が増加している中、ボランティア受け入れの理念統一とシステムの整備、啓発を続けてきた。実習生の受け入れについても教育への協力と捉え、積極的に受け入れてきた。

⑥ その他

施設支援計画や機関誌など、利用者への情報提供や案内文等には平易な表現やひらがなやルビ、写真を使用、また苦情解決システムの充実に努めた。

⑦ 作業指導

■就労移行支援、就労継続B型

・ 陶芸

市主催事業の記念品などの大量注文を中心に、楽土市やバザーへの出店のための製品作りや、干支の置物製作・販売も並行して行い、幅広くさまざまな陶器の受注製作を行った。

・ 園芸

ふれあいの里の一角を園芸用地とし、季節に応じた野菜を栽培しバザーで販売した。また、園芸作業の一環としてふれあいの里内の草木の環境整備も担った。

・ 軽作業

株式会社ダイキンサンライズ摂津の電気部品のコード巻き作業と、サンキョーサポートからの建材電気設備部品等の作業を受注した。また、不定期作業として障害福祉課より「障害者週間」の啓発のカイロの袋詰め作業を行った。この他2ヶ月に1回、建設会社からのダイレクトメール袋詰め作業にも取り組み、利用者一人ひとり

が役割と目標をもって取り組むことができた。

・食品トレー選別作業

摂津市内から集められた食品トレーの分別・選別を行い、リサイクルとゴミに選別した。施設外就労を行う事で、利用者の経験拡大と工賃向上に繋がり、リサイクルへの意識も向上した。

・小型家電リサイクル作業

主にパソコンを解体し、鉄・アルミ・ステンレスそして、金・銅・パラジウム等の希少金属（レアメタル）を海外流出させず国内循環し、社会に貢献できる事業である。作業の拡大と工賃の向上にも繋がった。

■自立訓練（生活訓練）

就労移行支援、就労継続支援 B 型より作業提供を受け、利用者一人ひとりの適性の把握や意欲の向上が図れた。

⑧ 就労活動

■就労移行支援

(人)

実施日	名 称	場 所	参加者
5月14日	求職活動	ハローワーク茨木	2
5月21日	求職活動	ハローワーク茨木	2
5月24日	求職活動	ハローワーク茨木	1
6月18日	求職活動	ハローワーク茨木	2
7月1日	求職活動	ハローワーク茨木	1
7月4日	求職活動	ハローワーク茨木	1
12月24日 25日 26日	企業・事業所実習	フラワーショップ林	5

⑨ 就職状況

■就労移行支援

(人)

事業所名	職 種	所在地	人数
ホームセンターコーナン	店舗内外清掃	茨木市	1
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション	施設内清掃	茨木市	1

⑩ 生産活動（収入状況）

（単位：円）

内 容	年間収入	事業所
陶芸作業	647,350	
園芸作業	29,110	
清掃作業	182,840	(株)セラ
空缶・古紙回収	51,801	
電気部品の加工作業	439,542	(株)ダイキンサンライズ摂津
建設会社DM作業	106,060	エッグ住まいる工房
マスク作業	1,100	
ティッシュ袋詰め等請負作業	74,000	官公庁等
小型家電解体作業	1,161,212	摂津市役所、一般持ち込み等
食品トレー選別作業	9,226,325	環境業務課
その他	138,720	福祉まつり等
収 入 合 計	12,058,060	

⑪工賃支給状況

■就労移行支援

（単位：円）

月	工賃支給総額	作 業 内 容	利用者数	平均工賃
4	34,438	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,920
5	34,410	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,916
6	34,250	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,893
7	29,317	軽作業・陶芸・園芸等	7	4,188
8	68,096	軽作業・陶芸・園芸等 一時金	5	13,619
9	23,948	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,790
10	22,857	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,571
11	25,750	軽作業・陶芸・園芸等	5	5,150
12	46,923	軽作業・陶芸・園芸等 一時金	5	9,385
1	24,342	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,868
2	24,514	軽作業・陶芸・園芸等	5	4,903
3	48,054	軽作業・陶芸・園芸等 一時金	5	9,611
工賃支給総額		平均工賃 / ヶ月		
416,899		6,318		

■就労継続B型支援

(単位:円)

月	工賃支給総額	各作業工賃		利用者数	平均工賃
4	901,804	軽作業・陶芸・園芸	77,750	17	53,047
		食品トレイ選別作業	824,054		
5	875,860	軽作業・陶芸・園芸	87,629	17	51,521
		食品トレイ選別作業	788,231		
6	863,540	軽作業・陶芸・園芸	83,250	17	50,796
		食品トレイ選別作業	780,290		
7	925,950	軽作業・陶芸・園芸	77,500	17	54,468
		食品トレイ選別作業	848,450		
8	960,507	軽作業・陶芸・園芸	73,096	17	56,500
		一時金	157,531		
		食品トレイ選別作業	729,880		
9	815,953	軽作業・陶芸・園芸	76,843	17	47,997
		食品トレイ選別作業	739,110		
10	875,665	軽作業・陶芸・園芸	78,335	17	51,510
		食品トレイ選別作業	797,330		
11	787,472	軽作業・陶芸・園芸	76,052	17	46,322
		食品トレイ選別作業	711,420		
12	1,006,726	軽作業・陶芸・園芸	84,250	17	59,219
		一時金	152,126		
		食品トレイ選別作業	770,350		
1	814,195	軽作業・陶芸・園芸	82,895	17	47,894
		食品トレイ選別作業	731,300		
2	779,225	軽作業・陶芸・園芸	85,555	17	45,837
		食品トレイ選別作業	693,670		
3	1,574,852	軽作業・陶芸・園芸	88,929	18	87,492
		一時金	673,683		
		食品トレイ選別作業	812,240		
工賃支給総額		平均工賃 / ヶ月			
11,181,749		54,384			

(3) 行 事

行事指導は、生活指導の一環として位置付け、種々の生活場면을導入し、レクリエーション的要素・学習的要素を含む取り組みにより知識・経験の拡大を図った。

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
10月26日	摂津宥和会 運動会 ※雨天中止	市立三宅柳田小学校		法人内の施設の利用者・OB とボランティアが参加の運動会。
12月8日	風船バレーボール 大会	市立三宅柳田小学校	利用者 生介 9 移行 3 B型 6 自立 2	市・市身体障害者福祉協会主催。希望者で参加した。
12月12日	ジャンボ クリスマス	摂津市立身体障害者・老人福祉センター 集会室	利用者 生介 29 移行 5 B型 9 自立 3	大阪人間科学大学人間科学部子ども保育学科「チーム ぽしえっと」による演奏を楽しんだ。
2月15日 ～2月20日	つくっ展と輝け コンサート	市立 コミュニティプラザ	利用者 生介 23 移行 5 B型 12 自立 0 一般 100	作品の成果発表の場として、また、地域との交流や福祉の啓発、そして、相互理解を目的とする。

■生活介護

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
6月20日	懇親会	作業室C	利用者 24 家 族 8	利用者・家族・職員が一同に会して、音楽療法を楽しみながらコミュニケーションを図ることを目的とする。

7月9日	園外活動	西河原市民プール	利用者 2	園外に出ることで社会性を高め、日常生活では得ることの出来ない体験を味わうことを目的とする。
7月12日		〃	利用者 2	
10月17日		尼崎城天守閣	利用者 5	
10月24日		〃	利用者 6	
11月5日		太陽の塔	利用者 3	
11月7日		〃	利用者 5	
11月8日		〃	利用者 5	
1月15日		通天閣	利用者 3	
3月9日	スプリング フェスタ ※新型コロナウイルスの影響で中止	作業室 C	利用者 家 族	1年間の終わりに利用者・家族・職員が一同に会して、コミュニケーションを深めることを目的とする。

■生活介護かがやき

① 食事会

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
7月10日	食事会	JO-TERRACE OSAKA	利用者 3	園外に出て、食事を楽しむことで、潤いのある園生活を送ることを目的とする。
7月16日		〃	利用者 3	
7月25日		〃	利用者 3	

② 社会見学

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11月22日	社会見学	万博記念公園 エキスポシティ	利用者 4	日常生活で、外出が困難な利用者が園外に出て、経験の枠を広げ潤いのある園生活を送ることを目的とする。
11月26日		〃	利用者 3	
11月28日		〃	利用者 2	

■就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

実施日	行事名	場 所	参加人数	内 容
11 月 21 日	体験学習	大阪城天守閣	利用者 移行 5 B 型 16 自立 2	利用者の意見を企画に反映させることで行事に対する意識を高めると共に経験の拡大を目的とする。

(4) 家庭との連携

■生活介護・就労移行支援・就労継続支援 B 型・自立訓練（生活訓練）

定例的な個別面談や家族会などにとどまらず、必要に応じて個別面談や電話による情報交換などを行った。

項 目	実施日	内 容
個人面談 家庭訪問	随 時	個別支援計画（生活介護・就労継続支援 B 型は年 2 回・就労移行支援、自立訓練（生活訓練）は年 4 回以上）の説明と同意を得た。 個別のケースについて必要に応じて個別に面談や家庭訪問を実施することで本人や家族の声を聞き、受容し、信頼関係を築き、問題解決を図った。
給食試食会	11 月 21 日	平成 30 年度に行った嗜好調査及び利用者アンケートにおいて、日頃施設で提供している昼食を知りたいとの要望があり試食会を開催した。「給食」への理解を深めて頂き、また、自宅での献立の参考にしてもらった。
家族会	5 月 23 日	新入利用者紹介、新年度役員紹介、新年度支援体制・支援方針・年間行事計画、近況報告等について
	12 月 13 日	年末の大掃除・グループホーム勉強会
機関紙	毎月 1 日 発行	当月の予定や利用者の全般的な様子を掲載し、毎月 1 日に発行した。
月課表	毎月 1 日 発行	当月の予定を配布した。
連絡帳	毎 日	毎日の連絡帳を通じて、利用者の健康状態・家庭での様子・検温・排泄時間・意見等家族とのコミュニケーションを図った。 (生活介護のみ)
電話連絡	随 時	最も迅速かつ正確な連絡方法であり、即応しなければならない場合に実施した。
その他	適 時	家族の都合により、9時から17時の間で一時預かりをする。登園時間外は、自力での登降園となる。

① ショートステイ先との連携

家庭の事情等によりショートステイや日中一時を希望される利用者に対しての支援として、ショートステイ先に、園での様子を引き継いだ。また、各事業所とも必要に応じて引継ぎや調整、送迎等の支援を適宜行った。

② 医療との連携

個別に応じて、家族の依頼に基づき円滑な通院ができるように、情報提供や病院との連携を行った。

③ 市との連携

市施策や園運営・支援状況、市内障がい者福祉情勢等の情報交換を行い、利用者ニーズに十分応えられるよう、随時連絡体制を確保した。

④ その他

入所前より詳細な生活内容や発達歴、各種サービスの利用を把握するために支援学校より引継ぎや助言を求めた。また、希望者については円滑な入所ができるよう、事前に進路選択等事業を利用し実習や受け入れを行った。

(5) 法人内他施設との連携

・就労支援機関事業所連絡会

摂津市障害者職業能力開発センター せつつくすのきと茨木・摂津障害者就業・生活支援センターの三施設で求人や就労活動の情報提供を密に行い円滑な支援ができるように連携を図った。

・みきの路との交流

みきの路の運動会などに当園の利用者が参加し、当園のクリスマス会や「つくっ展と輝けコンサート」などにみきの路の利用者が参加するなど、利用者間の交流を図った。

(6) 健康管理

今年度も感染症予防のため、インフルエンザ、病原性大腸菌O-157、ノロウィルスの感染拡大を防止するため手洗いを励行し、健康状態の把握に努め、家庭と園の連携で健康管理を図った。

看護師の来園時（月2回）、薬品の整理や使用方法、健康面・衛生面での助言や指導を受けたり、「保健だより」を発行して、より利用者が快適で安全な園生活を送ることができるよう努めた。

① 環境整備

○冷暖房調節・換気、温湿度計の管理

○薬箱・体温計の整理・管理（作業室C）

○医薬品管理

- 業者による園舎内清掃、消毒 ○手指などのアルコール消毒
- マスク

② 健康の維持・管理

- 健康カード作成（個人データの整理）
- 検温（体調不良時には随時） ○血圧測定
- 理学療法士による運動プログラム
- 配慮食・きざみ食の提供
- インフルエンザ対策（手洗い・うがい励行 検温・視診）

③ 服薬管理

- 医療調査票作成（通院状況・服薬状況・担当医調査）
- 服薬管理（活動時間内に服薬する利用者の服薬管理）

④ 作成資料

- (ア) 保健だより 年 3 回発行 (イ) 通院状況表
- (ウ) 服薬調査表 (エ) 健康チェックカード

⑤ 健康診断

(ア) 内科医健診

実施日	6月 3日	11月 25日
-----	-------	---------

(イ) 血圧・脈拍測定

実施日	毎月 1 回
-----	--------

* 健診日に欠席の場合、看護師の来園日に随時測定

(ウ) その他健診、検査

 歯科健診

実施日	7月 23日
-----	--------

 検尿

実施日	5月 16日	9月 10日
-----	--------	--------

(7) 給食の提供

給食については、利用者の健康の維持・増進、生活習慣病の予防や家庭での食生活の意識向上を目指して実施している。栄養素の摂取不足によって生じるエネルギー及び栄養素欠乏症の予防に留まらず、過剰摂取による健康障害の予防や生活習慣病の一次予防も重要である。

給食業務をウオクニ株式会社に委託して 16 年目となり、月 1 回定期的に同社の営業・栄養士・調理員・施設側の支援員・栄養士で会議を行い密に連携をとった。

また、研修会などへの参加により多くの情報を得、利用者にとってより安全で楽しく、美味しく食事をしてもらう環境作りを考えるよう努めた。

サービス向上委員会において、今年も給食のサービス向上のためのアンケートを実施し、その声を反映し、今年度も11月に家族向けの給食試食会を実施した。

食事は、あくまで個人的なものであることから個人が必要とする栄養量を満たした食事摂取基準を算定し、美味しく、衛生的な食事であることにも努めた。

また、個別の栄養アセスメントにも対応できるようにした。

給食における「食生活の指針」をたて、次のとおり実施した。

1. 給食会議の充実
2. 「給食だより（献立表）」の発刊（月1回）
3. 残食検査の実施
4. 食事提供状態の充実
5. 研修会の参加
6. 衛生管理の充実

（8）利用者の状況

①通所状況（在籍者数は月初の人数）

■生活介護

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	
支援日数 (日)	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数 (人)	494	464	473	514	459	442	489	445	472	448	427	485	5,612

■生活介護（かがやき）

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	11	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	
支援日数 (日)	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数 (人)	65	57	60	70	58	52	55	59	68	56	59	57	716

■就労移行支援

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	7	7	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	
支援日数 (日)	21	20	21	22	21	20	21	21	21	19	19	21	247
延利用数 (人)	137	133	139	133	94	90	98	100	101	93	94	101	1,313

■就労継続支援 B 型

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	
支援日数 (日)	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数 (人)	318	323	326	344	303	299	327	309	337	313	313	355	3,867

■自立訓練 (生活訓練)

(人)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍者数 (人)	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	
支援日数 (日)	21	20	20	22	21	19	21	20	21	19	19	21	244
延利用数 (人)	33	33	39	43	52	54	62	56	61	52	41	52	578

②年齢別（令和2年3月31日現在）

■生活介護（人）

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	4	3	10	18
女	0	1	1	7	9
計	1	5	4	17	27

■生活介護かがやき（人）

年齢 性別	30～39才	40～49才	50～59才	60～69才	70～79才	80～89才	計
男	0	2	0	0	0	2	4
女	0	1	0	2	2	0	5
計	0	3	0	2	2	2	9

■就労移行支援（人）

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	0	1	0	1	2
女	0	2	0	1	3
計	0	3	0	2	5

■就労継続支援B型（人）

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	3	1	6	11
女	0	0	1	6	7
計	1	3	2	12	18

■自立訓練（生活訓練）（人）

年齢 性別	18～19才	20～24才	25～29才	30才～	計
男	1	0	1	1	3
女	0	1	0	0	1
計	1	1	1	1	4

③手帳の所持

(ア)療育手帳 (令和2年3月31日現在)

■生活介護 (人)

性別 \ 判定	A	B1	B2	計
男	18	0	0	18
女	9	0	0	9
計	27	0	0	27

■就労移行支援 (人)

性別 \ 判定	A	B1	B2	計
男	1	0	1	2
女	0	3	0	3
計	1	3	1	5

■就労継続支援B型 (人)

性別 \ 判定	A	B1	B2	計
男	5	5	1	11
女	1	5	1	7
計	6	10	2	18

■自立訓練(生活訓練) (人)

性別 \ 判定	A	B1	B2	計
男	0	3	0	3
女	0	1	0	1
計	0	4	0	4

(イ) 身体障害者手帳 (令和2年3月31日現在)

■生活介護 (人)

性別 \ 級	1級	2級	3級	4級	計
男	0	3	0	1	4
女	1	1	0	1	3
計	1	4	0	2	7

■生活介護かがやき (人)

性別 \ 級	1級	2級	3級	4級	計
男	3	1	0	0	4
女	1	4	0	0	5
計	4	5	0	0	9

(ウ) 障害支援区分 (令和2年3月31日現在)

■生活介護 (人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	計
男	4	4	8	2	18
女	1	3	5	0	9
計	5	7	13	2	27

■生活介護かがやき (人)

性別 \ 区分	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	計
男	0	1	2	1	0	4
女	0	1	1	1	2	5
計	0	2	3	2	2	9

(9) 各種会議

利用者の処遇向上と職員間の連携を図るため、次のとおり会議を開催した。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 施設連絡会議 (月2回) | 2. 運動会実行委員会 (随時) |
| 3. 作品展実行委員会 (随時) | 4. 職員会議 (随時) |
| 5. ケース会議 (随時) | 6. 給食会議 (毎月1回) |
| 7. サービス向上委員会 (毎月1回) | 8. 虐待防止・権利擁護委員会 (随時) |
| 9. リーダー会議 (随時) | |

(10) 災害防止対策

防災用設備の自主点検実施のほか、災害時の任務分担、家族の緊急連絡網の職員への周知徹底を図ると共に、毎月の火災を想定した避難訓練とふれあいの里消防総合訓練(通報、避難、消火訓練)を年2回実施した。また、緊急時の備蓄品として飲料水とアルファ化米を購入した。

実施日	想定災害	訓練内容	参加者				
			利用者				職員
			生活介護	就労移行	就労B型	自立支援	
4月16日	火災	火災報知器を鳴らして 避難訓練	24	7	8	1	20
5月15日	〃	〃	24	6	9	2	21
6月18日	〃	ふれあいの里 消防総合訓練	21	6	8	1	20
7月4日	〃	火災報知器を鳴らして 避難訓練	23	7	9	1	18
8月5日	〃	〃	24	5	7	2	19
9月10日	〃	〃	18	5	6	3	17
10月16日	〃	〃	23	5	8	3	19
11月20日	〃	ふれあいの里 消防総合訓練	23	4	8	3	21
12月6日	〃	火災報知器を鳴らして 避難訓練	23	5	9	3	20
1月17日	震災	〃	23	5	8	2	21
2月3日	火災	〃	19	5	8	3	16
3月11日	震災	〃	23	5	8	2	18

(11) 職員研修・会議

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会・会議に参加した。

① 機関研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
5月22日	障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導	寝屋川市立市民会館	大阪府	施設長 支援員
7月2日	安全運転管理者講習	摂津市民文化ホール	大阪府公安委員会	施設長
7月17日	第2回日中活動、生産活動、就労支援部会（施設長会）	高槻地域総合支援センターふれいすBe	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	施設長
7月26日	令和元年度障がい児者施設課程（主任クラス）研修会	大阪府社会福祉会館	大阪府社会福祉協議会	支援員
9月4日	2019年度新任職員研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
9月25日	令和元年度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府立男女共同参画青少年センター（ドーンセンター）	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
10月3日	指定管理者制度の運用実務研修	摂津市役所	摂津市	支援員
10月7日	令和元年度強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修）	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府障がい者自立相談支援センター	支援員
11月6日	令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	国際障がい者交流センター（ビッグ・アイ）	大阪府	支援員
11月7日	令和元年度リスクマネジメントに関する研修会	大阪社会福祉指導センター	大阪府社会福祉協議会	支援員
11月13日	就労支援におけるアセスメントの実施方法～MSFAS・幕張ワークサンプルの活用～	大阪障害者職業センター	独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構	支援員
11月14日	災害から利用者を守る支援者のための防災研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市障害者地域自立支援協議会	支援員
11月16日	高次脳機能障がい講演会	宝塚ソリオホール	NPO法人宝塚高次脳機能障害者共生の会	支援員
11月19日	平成31年度第2回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
11月29日	令和元年度障がい者虐待防止・権利擁護研修	大阪府教育会館 たかつガーデン	大阪府	支援員
12月18日	第4回日中活動、生産活動就労支援部会（幹部会）	大阪府立砂川厚生センター	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
12月21日	2019 発達講座	大阪府教育会館 たかつガーデン	アイ・サポート研究所	支援員

1月16日	令和元年度「大阪府サービス管理責任者等更新研修」	大阪府社会福祉会館	一般財団法人大阪府地域福祉推進財団	支援員
1月29日	2019年度権利擁護研修	大阪府社会福祉会館	一般社団法人大阪知的障害者福祉協会	支援員
2月17日	発達障害研修	摂津市立コミュニティプラザ	摂津市	支援員
2月18日	摂津市社会福祉施設地域貢献委員会実務担当者情報交流会	摂津市立地域福祉活動支援センター	摂津市社会福祉協議会	支援員
2月19日	第3回関西基板ネットワーク会議	支援センターつつじ(ケアホーム)	関西基板ネットワーク	支援員

② 専門研修

研修日	研修名	場 所	主 催	職種
5月28日	平成31年度大阪府茨木保健所管内集団給食研究会総会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	栄養士
6月11日	食中毒予防講習会	茨木市福祉文化会館	大阪府茨木市保健所管内集団給食研究会	〃
9月29日	日本人の食事摂取基準(2020年度版)	マイドームおおさか	厚生労働省	〃
12月4日	特定給食講演会Ⅱ	住吉区民センター 大ホール	大阪府健康医療部保健医療室健康づくり課保健予防・歯科・栄養グループ	〃
1月25日	三島圏域地域リハビリテーション連絡会症例検討会	愛仁会リハビリテーション病院	三島圏域地域リハビリテーション連絡会	理学療法士

③ 施設内研修

研修日	研修名	講 師	職種
6月12日	平成31年度衛生研修	(株)イーズニック	施設長他
6月21日 28日	構造化内部研修	赤澤支援員	施設長他
11月1日 8日	職場のハラスメントを考える	特定社会保険労務士 板東嘉子氏	施設長他

(12) その他

① ボランティア受け入れ状況

担当者を設け、利用者の対人関係の拡大、体験学習、福祉の啓発を目的に受け入れをし、施設の社会化の一環とする。受け入れに当たっては、より職員間の意識統一を図るため、ボランティア受け入れマニュアルをもとに受け入れ、定期的に会議を設けた。

実施日	行事名	参加団体	人数
12月12日	ジャンボクリスマス会	人間科学大学子ども保育学科	9
2月15日	第19回つくっ展と輝けコンサート	関西電力労働組合 北摂支部	5

② 実習生の受け入れ状況

支援学校からの実習は、教育の一環として作業学習や、施設生活を体験することで、進路選択を行うため広く受け入れた。また、福祉事務所からの実習も受け入れ、広く障がい者福祉の啓発や福祉の人材育成に努めた。

(実習生)

実習期間	学校、施設名	受け入れ先	人数
6月24日～26日	摂津支援学校	自立訓練	1
7月10日～12日	摂津支援学校	就労継続支援B型	1
8月5日～9日	摂津支援学校	就労移行	1
8月19日～23日	摂津支援学校	就労移行	1
8月19日～21日	茨木支援学校	生活介護	1
9月2日～6日	摂津支援学校	自立訓練	1
10月8日、10日、11日	摂津支援学校	自立訓練	1
10月16日	摂津支援学校	生活介護	1
10月28日～11月1日	摂津支援学校	自立訓練	1
11月11日～15日	摂津支援学校	自立訓練	1
12月6日～9日	摂津支援学校	生活介護	1
12月10日～12日	摂津支援学校(2年生)	自立訓練	1
1月27日～28日	摂津支援学校(2年生)	生活介護	1

(職場体験実習)

実習期間	学校・施設名	受け入れ先	人数
6月13日・14日	摂津市立第三中学校	就労移行	2

③ アフターケア

障がい者の自立と豊かな地域生活への実現に向けて、本人の希望や家族の状況に応じて進路選択や決定の支援を行った。また、進路先へのスムーズな移行のために調整や引継ぎなどの支援も行った。

(13) 日中一時支援事業

ご家族のレスパイトを目的に、障がい児・者を長期休暇時や放課後、他事業所利用者の平日休暇日に日中活動の場として一時的に受入れを行ってきた。

今年度の受け入れ状況は、本体施設利用者の状況や施設面（ハード面）などの問題により、受入れが制限されることがあり、また、利用者の障がい程度に合わせた5クラスの編成配置を行ったため、日中一時支援を受ける居室がないため児童の受入れは難しく、また障がい者の利用希望もなかった。

(14) 移動支援事業（ガイドヘルパー派遣事業）

① 概況

一人で外出することが困難な障がいのある方の外出時に、付き添いや介助等のサービスを行うガイドヘルパーを派遣した。今年度も利用者からの要望をもとにグループ支援など、余暇の充実のためのサービス提供を行った。

② 事業の状況

* 移動支援サービスの提供状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護あり	件数	15	16	14	13	11	14	9	14	11	13	6	0	136
	時間	117	122	99.5	92.5	77.5	98.5	63.5	103	77.5	93	42.5	0	986.5
	平均	7.8	7.6	7.1	7.1	7.0	7.0	7.1	7.4	7.0	7.2	7.1	0	6.6
身体介護なし	件数	2	5	2	3	1	6	1	2	1	1	5	0	29
	時間	15.5	37.5	14.5	19.0	7.0	44.0	7.0	16.0	7.5	7.5	37.5	0	213.0
	平均	7.8	7.5	7.3	6.3	7.0	7.3	7.0	8.0	7.5	7.5	7.5	0	6.7
合計	件数	17	21	16	16	12	20	10	16	12	14	11	0	165
	時間	132.5	159.5	114.0	111.5	84.5	142.5	70.5	119.0	85.0	100.5	80.0	0	1199.5
	平均	7.8	7.6	7.1	7.0	7.0	7.1	7.1	7.4	7.1	7.2	7.3	0	6.6

*利用契約者の状況（令和2年3月31日現在）

		人 数	合 計
障害種別	知的障害	43	47
	身体障害	4	
	精神障害	0	
身体介護あり		27	47
身体介護なし		20	

③ 職員研修

職員の専門性の向上を目指し、質の高いサービスを提供するため、各種研修会に参加した。

研修日	研修名	場 所	参加人数
11月16日	高次脳機能障がい講演会	宝塚ソリオホール	1
11月19日	平成31年度 第2回感染症予防対策講習会	クレオ大阪中央	1

④ 各種会議

安定した移動支援サービスの提供と職員間の連携を図るため、定期的に会議を開催した。

実施日	内 容	参加人数
5月8日	会議（計画書等書類の書き方・グループ支援について）	10
6月3日	会議（ニーズ調査）	8
7月22日	〃	10
9月10日	〃	11
11月11日	〃	10
3月16日	会議（計画書等書類の書き方・見直し、グループ支援について）	11

（15）新型コロナウイルス感染症の発生に伴う措置

令和2年2月頃より日本国内での感染者拡大を受け、施設内ではアルコール消毒液でドアノブ・手すり等の消毒を行い、登園時に検温、手洗いの徹底を行い健康管理に努めた。

また、食堂での座席配置や人数制限、大人数での活動の見直しも行った。

令和2年2月13日付「社会福祉施設等における新型コロナウイルスへの対応の徹底について」等に基づき利用者の受入れには細心の注意を払い対策を講じた。

また、マスク不足の折、施設内の感染拡大防止を目的に就労の利用者が布製のマスクを作製し販売を始め、そして数に限りはあるが法人内の施設にも販売した。